

県営有明工業用水道の概要

有明工業用水道事業は、不知火・有明・大牟田地区が新産業都市として指定されたのを契機に、工業開発の拠点として荒尾、長洲地区を給水対象として昭和46年に建設が始まり、昭和50年6月1日に給水を開始しています。建設にあたっては、福岡県の大牟田工業用水道や大牟田市上水道との共同事業として行われ、取水施設から分水場までは三者の共同施設となっています。

菊池川上流の竜門ダムを水源とし、下流の白石堰から取水し、導水トンネルを経て玉名市石貫の浄水場へ揚水された水は沈殿処理された後、荒尾市金山の分水場へ送られ、ここで福岡県大牟田市への工業用水・上水分と、荒尾、長洲地区への工業用水分とに分けられます。各工場へは、この分水場から自然流下により配水されています。

区分	内容
水源	一級河川 菊池川
取水地点	白石堰（玉名市大字月田、菊池川右岸）
取水量（水利権量）	36,374m ³ /日（0.421m ³ /秒）
給水能力	33,860m ³ /日
給水区域	荒尾市、長洲町
給水方式	自然流下
建設期間	昭和46年～昭和50年
給水開始	昭和50年6月1日

有明工業用水道ルート図



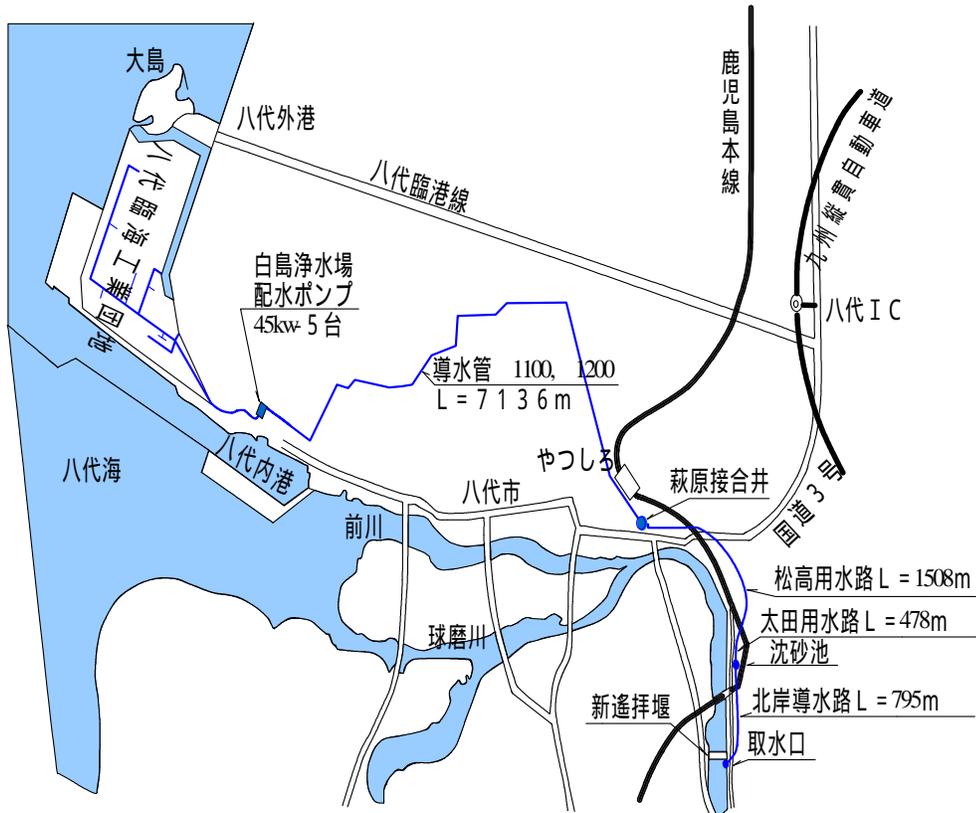
県営八代工業用水道の概要

明治以来、本県工業の中心地として栄えてきた八代市においては、不知火・有明・大牟田地区の新産業都市指定を機に、県南の工業開発の拠点として約200ヘクタールの八代臨海工業用地への工業用水道の整備が求められました。そこで、水源を球磨川に求め、農業用水との共同取水施設として遙拝堰が昭和41年から43年にかけて建設されました。さらに、その後導水管や浄水場、配水管の建設を経て昭和52年4月1日に給水を開始しました。

遙拝堰から取水した水は、農業用水との共同施設である北岸導水路から太田、松高水路及び工業用水専用の導水管を経て八代市白島の浄水場へ自然流下で送られ、沈殿処理の後、八代外港地区の臨海工業用地の各工場へ配水されています。

区分	内容
水源	一級河川 球磨川
取水地点	遙拝堰（八代市坂本町古宮、球磨川右岸）
取水量（水利権量）	29,462m ³ /日（0.341m ³ /秒）
給水能力	27,300m ³ /日
給水区域	八代市
給水方式	ポンプ圧送
建設期間	昭和41年～昭和53年
給水開始	昭和52年4月1日

八代工業用水道ルート図



県営苓北工業用水道の概要

苓北工業用水道事業は、県内の電力自給率向上のため苓北町に建設された九州電力（株）の石炭専燃の苓北発電所への工業用水供給を主たる目的に、昭和57年に建設が始まり、平成5年8月1日に給水を開始しました。

水源は二級河川都呂々川で、苓北町の簡易水道及び農業用水との共同施設である都呂々ダムに貯水された水を下流の取水堰から取水し、原水のまま発電所にポンプ圧送されています。

今後、苓北町が建設した工業団地に給水するための浄水場も計画しています。

区分	内容
水源	二級河川 都呂々川
取水地点	中里堰（天草郡苓北町大字都呂々、都呂々川右岸）
取水量（水利権量）	7,776m ³ / 日(0.09m ³ / 秒)
	1,382m ³ / 日(0.016m ³ / 秒)はダム貯留権
給水能力	8,500m ³ / 日
給水区域	苓北町
給水方式	ポンプ圧送
建設期間	昭和57年～平成6年
給水開始	平成5年8月1日

